

# オックスフォード大学出版局 & 数研出版 主催

## 《中学高等学校教員向けセミナー開催のご案内》

2019年9月

学校長 殿  
英語科主任 先生  
英語科ご担当先生

拝啓 常日頃はお愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

今年もオックスフォード大学出版局(Oxford University Press)ならびに数研出版では、中学校、高等学校の英語教員の方々を対象としたセミナーを開催いたします。多数のご参加を賜りたく、ご高配の程よろしくお願い申し上げます。

敬具  
オックスフォード大学出版局・数研出版

### ◆◆◆ プログラム・開催日時・会場 ◆◆◆

① 名古屋会場 定員 70 名		
11月10日(日)		AP 名古屋. 名駅 B+C
申込締切	Web 11/6	FAX 11/1
受付開始 10:00		
第一部 10:15~11:45 <有料>	An Interactive "Speaking Gym" Workout 〈Steven Herder〉	
第二部 12:45~13:30	What から Why へ/How から Why へ ～未来を見て、世界を見て授業やっていますか?～ 〈西山 哲郎〉	
第三部 13:45~14:30	Q : Skills for Success を用いた授業 〈江口 智紀〉	
ワークショップ 14:45~16:15	Community for Success Workshop	

② 東京会場 定員 70 名		
11月17日(日)		ビジョンセンター東京駅前 703 室
申込締切	Web 11/13	FAX 11/8
受付開始 10:00		
第一部 10:15~11:45 <有料>	創造的発話生産を刺激する即興的やり取り : 理論とアクティビティ紹介 〈三野宮 春子〉	
第二部 12:45~13:30	4 技能型授業のハイブリッド法 : オーガニックな語学学習指導 〈田中 十督〉	
第三部 13:45~14:30	共通テストを見据えた リスニングの指導方法 〈亙理 陽一〉	
ワークショップ 14:45~16:15	Community for Success Workshop	

日々の授業でお悩みの課題や、成功した活動例などを他校の先生方と意見交換していただける場を設けました。経験豊かな講師がセッションをリードしながら出席者の方々にもご参加いただき、現場で生まれるリアルな疑問や課題を考えるワークショップを行います。

③ 大阪会場 定員 100 名		
11月24日(日)		梅田センタービル H 会議室
申込締切	Web 11/20	FAX 11/15
受付開始 10:00		
第一部 10:15~11:45 <有料>	ここがポイント!スピーキング指導 ～『Speaking Gym』を使って～ 〈工藤 洋路 / 津久井 貴之〉	
第二部 12:45~13:30	多読を活用した 4 技能統合型授業の 成果とその進め方 〈栗下 典子〉	
第三部 13:45~14:30	共通テストを見据えた リスニングの指導方法 〈亙理 陽一〉	
ワークショップ 14:45~16:15	Community for Success Workshop	

④ 横浜会場 定員 70 名		
12月1日(日)		AP 横浜駅西口 H ルーム
申込締切	Web 11/27	FAX 11/22
受付開始 10:00		
第一部 10:15~11:45 <有料>	次期学習指導要領「外国語教育の 抜本的強化」に立ち向かうために —「やり取り」の先にあるものは?— 〈増見 敦〉	
第二部 12:45~13:30	多読を活用した 4 技能統合型授業の 成果とその進め方 〈栗下 典子〉	
第三部 13:45~14:30	Q : Skills for Success を用いた授業 〈江口 智紀〉	
ワークショップ 14:45~16:15	Community for Success Workshop	

#### ◇ 対象

英語教育に携わる中学校・高等学校の先生

※数研出版では、セミナー会場での中学校(中高一貫校を除く)・塾の先生方および一般の方へのご審査用見本の手配は控えてさせていただきます。何卒ご了承ください。

#### ◇ 参加費

※交通費、宿泊費、駐車場代等の支給はございません

第一部	200 円(税込) 当日受付でお支払いください
第二部・第三部 ワークショップ	無料

## ◆◆◆ プログラム詳細 ◆◆◆

### ◆ ① 名古屋会場

講演タイトル・講師	講演内容の詳細
<p><b>An Interactive “Speaking Gym” Workout</b></p> <p>京都ノートルダム女子大学 人間文化学部英語英文学科 准教授 <b>Steven Herder</b></p>	<p>First, we will discuss 5 kinds of classroom interaction, and then consider pedagogical benefits of each.</p> <p>Next, we will practice ways to increase and improve speaking output, using <b>Speaking Gym Basic</b> and <b>Speaking Gym Standard</b>.</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Start by providing students with an easy, speaking structure within real and natural conversations.</li> <li>2. Gradually challenge students with more demanding activities that require expanded communication skills, but also build confidence and increase motivation.</li> <li>3. Additionally, show students ways to see improvements in fluency, accuracy, or complexity.</li> </ol> <p>We will also discuss ways to evaluate speaking activities with a generic or tailor-made rubric.</p>
<p><b>What から Why へ/How から Why へ</b> ～未来を見て、世界を見て授業やっていますか？～</p> <p>香里ヌヴェール学院小学校 校長 <b>西山 哲郎</b></p>	<p>教科書や副教材の選定を盲目的に行っていた 20 代。あの頃の私には『どんな大人に育って欲しいのか。』また『英語を何のために学ばせたいか。』などの「大義」が全くありませんでした。しかし、今は『先生の授業が海外で受けた授業と同じだった』とまで生徒たちに伝えてもらえるようになりました。ここまでの変遷に必要な要素をお話いたします。</p>
<p><b>Q : Skills for Success を用いた授業</b></p> <p>佐賀県立佐賀高等学校 <b>江口 智紀</b></p>	<p>Q : Skills for Success を用いるようになった背景や、その教材を用いた授業の実際をお伝えするとともに、授業の一部分をワークショップ形式でお示しします。また、実際の生徒の様子等も動画でお伝えできればと考えています。</p>

### ◆ ② 東京会場

講演タイトル・講師	講演内容の詳細
<p><b>創造的発話生産を刺激する即興的やり取り</b> ：理論とアクティビティ紹介</p> <p>大東文化大学 文学部 英米文学科 特任准教授 <b>三野宮 春子</b></p>	<p>このワークショップ型講演では、数種類のアクティビティを参加者の先生方に体験していただき、それをもとに考察を深めます。教科書をベースにしたアクティビティもご紹介します。また、単に準備時間を短くするだけの「即興」を超え、単に話者交替を頻繁にするだけの「やり取り」を超えるための理論を、分かり易く説明します。私たちは、正確さ(accuracy)・流暢さ(flucency)・適切さ(appropriateness)の軸に何を加え、その先にどんな英語教育を思い描けるでしょうか。</p> <p>今年度用に新しいアクティビティを用意してお待ちしています。昨年すでに名古屋・大阪・埼玉で参加された方も、ぜひ再度ご参加ください。</p>
<p><b>4 技能型授業のハイブリッド法</b> ：オーガニックな語学学習指導</p> <p>西南学院中学校・高等学校 教諭 <b>田中 十督</b></p>	<p>ネイティブが自然に身に着ける英語習得の仕方、という観点から、英語の授業そのものを俯瞰し、4 つの技能を効果的に取り入れながら総合的な英語力を身に着けることを目指して授業をしています。本セミナーでは、多読や英英辞典における語彙指導などを中心に、効果的な 4 技能型授業の指導教授法などについて、シェアする時間を持てればと思っています。</p>
<p><b>共通テストを見据えたリスニングの指導方法</b></p> <p>静岡大学 学術院教育学領域 ／教育学部英語教育講座 准教授 <b>巨理 陽一</b></p>	<p>生徒がリスニング・スキルを伸ばすために授業の中でどのような指導を行うべきか、具体例を通じて考えます。聞かせっぱなしを繰り返すだけになりがちなりリスニング指導の引き出しを増やすことで、生徒が聞けた手応えを積み重ねながら、共通テストなどのリスニング・テストで求められる力を伸ばしていける、そのような授業づくりの一助となれば幸いです。学びを実感できる授業で、受容技能の指導をもっと楽しいものにしませう。</p>

◆ ③ 大阪会場

講演タイトル・講師	講演内容の詳細
<p><b>ここがポイント！スピーキング指導</b>            ～『Speaking Gym』を使って～</p> <p>玉川大学 文学部 准教授  <b>工藤 洋路</b>            国立お茶の水女子大学附属高等学校 教諭  <b>津久井 貴之</b></p>	<p>新学習指導要領では「話すこと」の技能が「やり取り」と「発表」の2つの領域に分けられた。このことは、話す力を伸ばすためには、片方の指導だけではなく、両方の指導を行う必要があることを示している。「やり取り」については、チャットやロールプレイなどの活動が考えられ、また、「発表」については、プレゼンテーションやスピーチなどの言語活動が考えられる。これらの活動を授業でどのように実践して、さらに、どのように評価をしていくかについて、本セミナーでは『Speaking Gym』の教材を例にとって、具体的な手法を提示し、その意義を考えたい。</p>
<p><b>多読を活用した4技能統合型授業の            成果とその進め方</b></p> <p>岐阜県立郡上高等学校 教諭  <b>栗下 典子</b></p>	<p>多読による英語学習は、暗記による従来型学習よりもコミュニケーション力を育成する上で有効であることは知られているが、単なる黙読だけでは大量に読まなければその効果は現れにくい。しかし、スピーキングやライティングなどのアウトプット活動と共に多読授業を仕組みればその効果は現れやすくなります。この発表においては、公立中学校3年生における多読を活用した授業の様子と、4技能を統合的に育成した成果をテスト結果と生徒の声から紹介します。</p>
<p><b>共通テストを見据えたリスニングの指導方法</b></p> <p>静岡大学 学術院教育学領域            ／教育学部英語教育講座 准教授  <b>亘理 陽一</b></p>	<p>生徒がリスニング・スキルを伸ばすために授業の中でどのような指導を行うべきか、具体例を通じて考えます。聞かせっぱなしを繰り返すだけになりがちリスニング指導の引き出しを増やすことで、生徒が聞けた手応えを積み重ねながら、共通テストなどのリスニング・テストで求められる力を伸ばしていける、そのような授業づくりの一助となれば幸いです。学びを実感できる授業で、受容技能の指導をもっと楽しいものにしましょう。</p>

◆ ④ 横浜会場

講演タイトル・講師	講演内容の詳細
<p><b>次期学習指導要領「外国語教育の抜本的            強化」に立ち向かうために</b>            —「やり取り」の先にあるものは？—</p> <p>神戸大学 附属中等教育学校 教諭  <b>増見 敦</b></p>	<p>次期学習指導要領では、「3つの資質・能力の育成」そして「外国語教育の抜本的強化」が目指されます。大きな課題を前に我々現場の教員は、毎日の授業をどう創り上げていけばよいのでしょうか。ここでは「単元の組み立て」「英語を使う場面の設定」「『やり取り』の意味」をキーワードに、実際の活動例もご紹介しつつ、これから求められる授業について先生方と一緒に考えてみたいと思っております。</p>
<p><b>多読を活用した4技能統合型授業の            成果とその進め方</b></p> <p>岐阜県立郡上高等学校 教諭  <b>栗下 典子</b></p>	<p>多読による英語学習は、暗記による従来型学習よりもコミュニケーション力を育成する上で有効であることは知られているが、単なる黙読だけでは大量に読まなければその効果は現れにくい。しかし、スピーキングやライティングなどのアウトプット活動と共に多読授業を仕組みればその効果は現れやすくなります。この発表においては、公立中学校3年生における多読を活用した授業の様子と、4技能を統合的に育成した成果をテスト結果と生徒の声から紹介します。</p>
<p><b>Q : Skills for Success を用いた授業</b></p> <p>佐賀県立佐賀西高等学校  <b>江口 智紀</b></p>	<p>Q : Skills for Success を用いるようになった背景や、その教材を用いた授業の実際をお伝えするとともに、授業の一部をワークショップ形式でお示します。また、実際の生徒の様子等も動画でお伝えできればと考えています。</p>

# ◆◆◆ 会場詳細 ◆◆◆

## ① 名古屋会場

### AP 名古屋 名駅 B+C

(愛知県名古屋市中村区名駅 4-10-25 名駅 IMAIビル 8F)

#### 《アクセス》

- \* JR 名古屋駅 徒歩約 5 分
- \* 名鉄・近鉄名古屋駅 徒歩約 2 分



## ② 東京会場

### ビジョンセンター東京駅前 703

(東京都中央区八重洲 1-8-17 新榎町ビル 7F)

#### 《アクセス》

- \* JR 東京駅(八重洲北口・中央口) 徒歩 1 分  
(八重洲地下街直結(地下街 18 番出口))
- \* 東京メトロ 銀座線・東西線 日本橋駅(B3 出口) 徒歩 5 分



## ③ 大阪会場

### 梅田センタービル H 会議室

(大阪市北区中崎西 2 丁目 4 番 12 号 16 階)

#### 《アクセス》

- \* JR「大阪駅」徒歩約 10 分
- \* 阪急「梅田駅」徒歩約 5 分
- \* 阪神「梅田駅」徒歩約 9 分
- \* 地下鉄「梅田駅」「東梅田駅」徒歩約 7 分
- \* 地下鉄「西梅田駅」徒歩約 9 分



## ④ 横浜会場

### AP 横浜駅西口 H ルーム

(神奈川県横浜市西区北幸 2-6-1  
ONEST 横浜西口ビル 6 階)

#### 《アクセス》

- \* JR「横浜駅」西口 徒歩 6 分
- \* 横浜市営地下鉄「横浜駅」徒歩約 3 分
- \* 東急東横線・みなとみらい線「横浜駅」徒歩約 6 分
- \* 相模鉄道線「横浜駅」徒歩約 5 分
- \* 京浜急行線「横浜駅」徒歩約 6 分



## ◆◆◆ 申込方法 ◆◆◆

<b>Web 申込</b>	<p>下記 URL または右記 QR コードより ウェブサイトアクセスしてください。 お申込確認後、メールにて「参加証」を送付させていただきます。</p> <p>【URL】 <a href="https://www.chart.co.jp/event/eigo/1910/">https://www.chart.co.jp/event/eigo/1910/</a></p>	
<b>FAX 申込</b>	<p>下記参加申込書に必要事項をご記入いただき、数研出版 FAX 番号宛にお申込みください。お申込確認後、ハガキにて「参加証」を送付させていただきます。</p> <p style="text-align: center;">【数研出版 FAX 番号】      <b>075-256-2936</b></p>	

### オックスフォード大学出版局 & 数研出版セミナー 参加申込書

<b>貴校名</b>	都・道 府・県	<input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 高等学校 <input type="checkbox"/> 中等教育学校
学校電話番号	学校 FAX 番号	
<b>お申込会場</b> <small>参加を希望される会場に チェックを入れてください</small>	<b>参加希望プログラム</b> <small>参加を希望されるプログラム にチェックを入れてください</small>	<b>お申込者氏名</b> <small>お名前、フリガナともにフルネームでご記入ください</small>
<input type="checkbox"/> ①11/10 名古屋 <input type="checkbox"/> ②11/17 東京 <input type="checkbox"/> ③11/24 大阪 <input type="checkbox"/> ④12/1 横浜	<input type="checkbox"/> 第一部 (有料200円) <input type="checkbox"/> 第二部 <input type="checkbox"/> 第三部 <input type="checkbox"/> ワークショップ	(フリガナ)  (お名前)
<small>※領収書をご入用の場合、チェックを入れた上で、宛名をご記入ください。</small>	<input type="checkbox"/> 領収書が必要	宛名(校名・個人名) ( )
(E-mail)		@
今後、オックスフォード大学出版局のイベントや新商品・サービスなどの情報を、Eメールやお電話でご案内する場合がございます。受け取りを希望される方はチェックをしてください。□ 今後、数研出版からの情報を希望 □する / □しない		
<input type="checkbox"/> ①11/10 名古屋 <input type="checkbox"/> ②11/17 東京 <input type="checkbox"/> ③11/24 大阪 <input type="checkbox"/> ④12/1 横浜	<input type="checkbox"/> 第一部 (有料200円) <input type="checkbox"/> 第二部 <input type="checkbox"/> 第三部 <input type="checkbox"/> ワークショップ	(フリガナ)  (お名前)
<small>※領収書をご入用の場合、チェックを入れた上で、宛名をご記入ください。</small>	<input type="checkbox"/> 領収書が必要	宛名(校名・個人名) ( )
(E-mail)		@
今後、オックスフォード大学出版局のイベントや新商品・サービスなどの情報を、Eメールやお電話でご案内する場合がございます。受け取りを希望される方はチェックをしてください。□ 今後、数研出版からの情報を希望 □する / □しない		

※各会場とも定員に達し次第、締め切らせていただきます。  
お申込みいただいた会場が締め切りの場合は、その旨ご連絡いたします。

#### 【問い合わせ先】

オックスフォード大学出版局      TEL: 03-5444-5454      e-mail: elt.japan@oup.com  
 数研出版      TEL: 075-231-0162 (コールセンター)      e-mail: seminar@suken.co.jp

#### \* 個人情報の取扱いについて

オックスフォード大学出版局のプライバシーポリシーでは、お客様からお預かりした個人情報の取り扱い方法について規定しています。また、同ポリシーには、弊社のマーケティング活動やその他の事業活動におけるお客様の個人情報の活用に関して、お客様が異議の申し立てをすることができる権利について明示しています。 [www.oup.com/privacy](http://www.oup.com/privacy)  
 数研出版株式会社では、ご提供いただいた個人情報をプライバシーポリシーに従い、個人情報保護法等の関連法令を遵守し、管理・利用等をさせていただきます。 <https://www.chart.co.jp/top/engagement/privacy.html>